

令和7年度鶴岡市立図書館協議会 会議概要

○日時 令和8年2月19日(木) 午前10時～11時30分

○会場 図書館本館 講座室

○出席委員 粕谷 温子委員 草島 陽子委員 井上 裕子委員
佐藤 泰彦委員 五十嵐 武委員 三浦 洋介委員
本間 積委員 菊地 淳子委員 鈴木 和子委員
長南 敏子委員

○欠席委員 和田 俊江委員 柴田 陵子委員 上野 あやの委員

○市側出席職員 図書館長 五十嵐恭子、社会教育課長 五十嵐依久子
館長補佐 今野 章、主査 齋藤 剛志

○公開・非公開の別 公開

○傍聴の人数 1名

○会議内容

- 1.開会
- 2.あいさつ
- 3.図書館協議会委員並びに事務局紹介
- 4.正副委員長の選出
- 5.報告・協議
 - (1) 令和6年度図書館事業報告
 - (2) 令和7年度図書館重点施策と主要事業について
 - (3) 新図書館整備事業について
 - (4) その他

【質疑・意見】

委員) 温海分館の団体貸出しが多い理由は、合併前からの各団体・施設等との関係性によるものが大きい。また、本年度はお月見おはなし会をコロナ禍以降初めて実施できた。

委員) 子供向けの事業が多いのは良いことだが、一般向け(大人向け)の事業が少ない印象を受ける。作家を目指す方や俳句を嗜む方用の事業はあるが、普段図書館に縁のない方が、気軽に参加できるようなものを実施すべきではないか。たとえば、料理の本や手芸の本を借りてもらい、作品と本をセットで展示し簡単な展示会を開くなどしてはどうか。

館長) 課題として認識している。今回、土曜会の柿崎先生を図書館にお招きし、音楽と音楽のまち鶴岡について語る「第1回本といっしょ つるおかトーク」を開催する。これは、音楽に関心の高い方を、図書館利用者に取りこむことも、目的の一つであります。

委員のアイデアも含め、この課題を解決するため、努力していきたい。

委員長) 小学生の見学で、一小の特別支援学級が来ているようだが、とても良いことだと思う。なかなか目の届かない、養護学校等との連携が移動図書館も含め図れればと思う。

委員) 中央公民館事業で、漢詩、俳句などで活動しているが、図書館で資料を利用しながら実施するのも良いと思う。中央公民館事業とのタイアップを検討してはどうか。

委員) 羽黒の第四活動センター等、移動図書館を利用したいが、遠慮している施設が見うけられる。聞取りしてはどうか。

委員) 朝日についても、高齢化が進み、なかなか、本を借りに行けないので、南部コミュニティセンターを付け加えてほしい。

事務局) 聞取り対応します。

委員) 移動図書館車が、学童、幼稚園等に来ていただくことにより、読書のたねをまくことに繋がると思う。ぜひ頑張ってもらいたい。

委員) 市町村合併の際に、郊外地、図書館がない地域への対応が必要と考え、財政当局との困難な協議の末、移動図書館車を購入している。車両の老朽化もみられるので、ぜひ、今後も更新・運営してほしい。

委員) Wi-Fi 環境を整備したことで、高校生も多く利用しているように見受けられる、高校生のための事業も必要なのでは。

高校で郷土や料理等の調査・発表も行われているようなので、もっと、利用してもらえるように、周知することも必要。高校生の居場所の一つになれば良いと思う。

委員) 図書館のように信頼の高い施設であれば、部活の終わりに利用でき、メンタルケア等もできれば、親御さんも安心して、任せられるのでは。

委員) 学童保育所にとっては、移動図書館は子供たちが喜ぶ一つのイベントで、車に入るだけでも楽しんでいる。借りた本は、親が図書館に返却することもあり、普段図書館を利用しない親が、図書館を知る切っ掛けになると思う。

また、最近はおはなし会の参加者が増えてきている。子供たちだけでなく、その家族の参加者も増えてきている。ただ、小学生になると参加してくれなくなるので、その対策が必要と思う。

委員長) 楽しみにして頂いているようなので、夏の間だけでも、学童と相談し、数多く利用してもらえば良いと思います。

事務局) 要望調査を検討してみます。

委員) 小学校は、夏のプール使用を辞めており、この時に本の貸出をしていたが出来ないので、移動図書館なりで対応出来ないか。

具体的には、図書館だよりなどで、日程等周知し、利用してもらうのも良いのでは。

小学生になると、勉強はもちろん、習い事もあり、時間がない。図書館に来てもらうには、図書館に行くと、楽しめるぐらいでない、行かないと思う。

学区による移動制限もある。

委員) 小学校では必ず自由研究があるので、図書館の本が役立つと学校を通じてアプローチしてはどうか。

また、居場所としての活用について、本館は高齢な利用者が多く、子供が騒いだり、友達と話しても怒られると思われるがどうなのか。

館長) 頭を悩ませている。今の図書館では、場所のゾーニングは難しい。新庄の図書館では、赤ちゃんの日を設けたりして、時間のゾーニングで対処している。また、子供の声は未来の声として、煩くしてもよいと割り切っている図書館もある。これらを踏まえ、検討していきたい。

小学生向けに、体験型の図書館ナイトツアーを行っており好評である。もっといろいろな事業を行っていきたい。

委員) 移動図書館車の立ち寄り、ショッピングモール等もいいのか。

事務局) 可能ではあるが、このような場所では、利用してくれない場合が多い。

委員) 移動図書館の情報について、高齢の方がホームページを見るのは、ハードルが高い。広報に載せたらいいのでは。また、本館の駐車場がいつも混雑しているので、休日だけでも近くの駐車場を使わせてもらったらいいのでは。

事務局) イベント時は、かたばみ保育園で借りている駐車場を利用させてもらっている。駐車場問題は今後も検討課題の一つとしたい。

委員長) 鶴岡市立図書館の強みとして、郷土資料館と併設している点がある。郷土資料館はマスメディアで取り上げられたり、各方面から講演を求められたりしており、図書館でこれを上手く利用することも考えてはどうか。

6. その他

7. 閉 会